保証書

品名	まんじゅう蒸し器
機種名	MJ45型／MJ60型

保証内容（必ずお読みください）

● 無償修理の範囲

保証期間中万一品質及び製造上の不備による故障が生じた場合については、無償にて責任をもって修理いたします。

● 有償修理の範囲

保障期間中でも、次の場合の修理は実費有償を申し受けますのでご了承下さい。

1．取扱い不適当による故障又は損傷の場合。
2．部品の消耗、取扱いミスの場合。
3．転宅等による輸送上の故障の場合。
4．天災地変、異常電圧等による故障、損傷の場合。
5．当社関係サービスマン以外の方が修理、改造された部分でその修理改造が不適当であった場合。
6．離島等、遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
7．本証書のご提示がない場合。
8．以上の外、保証期間外の場合は当社規定のサービス料を申し受けます。
9．本証は日本国内においてのみ有効です。

● 有償修理の期限

お買い上げ日より６年間は全ての部品を用意しております。

お名前	様	TEL
ご住所		

保証期限	お買上日より満１年間
お買上日	年　月　日

日本ヒーター機器株式会社
☎ 03-3768-4111㈹（ヨイヒーター） FAX 03-3768-8222
〒143-0016 東京都大田区大森北1-18-2 IKビル5F

日本ヒーター機器株式会社 は、ISO9002 を取得しています。

取扱説明書

全自動

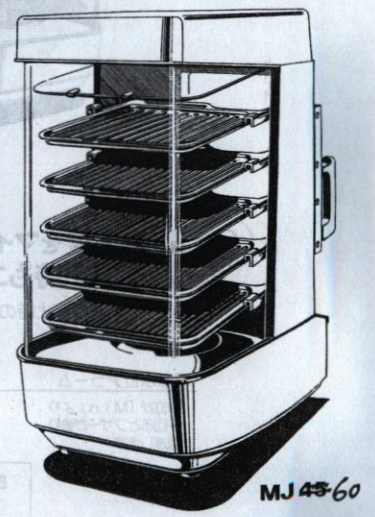
まんじゅう蒸し器

スチームマスター® ~~MJ45~~ / MJ60

目　次

1．製品の特徴
　1-1 製品の特徴 ―― 1
　1-2 各部の名称 ―― 3
2．安全について
　2-1 安全上のご注意 ―― 5
　2-2 取扱い上のお願い ―― 7
3．設置のしかた ―― 9
4．使用方法
　4-1 使用前の準備 ―― 10
　4-2 販売方法 ―― 11
　4-3 まんじゅうの補充 ―― 12
　4-4 給水 ―― 12
5．お手入れのしかた
　5-1 水の交換方法 ―― 13
　5-2 毎日のお手入れ ―― 14
　5-3 汚れが気になる時 ―― 18
6．保管のしかた ―― 20
7．困った時は
　7-1 排水の流れが悪い場合 ―― 21
　7-2 エラー表示が出て止まった場合 ―― 22
　7-3 蛍光灯がつかない場合 ―― 23
　7-4 ドアの向きを変えたい場合 ―― 24
　7-5 その他の困った時は ―― 25
8．仕様書 ―― 26
9．アフターサービス ―― 26

この度は「全自動まんじゅう蒸し器」をお買い求めいただきまして、ありがとうございました。この説明書をよくお読みうえ、正しくお使いください。



最終ページに保証書がついておりますので、大切に保管してください。

販売元 日本ヒーター販売株式会社
製造元 日本ヒーター機器株式会社

参代

1 製品の特徴

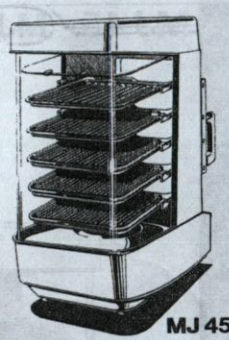
1－1 製品の特徴

『スチームマスター®』シリーズは、従来のまんじゅう蒸し器よりも、
『よく売れて』、『操作が簡単で』、『お手入れのしやすい』です。

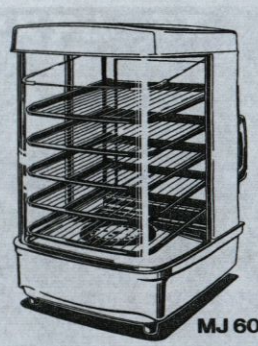
「スチームマスター」は、登録商標です。

① 前面のガラスに支柱がなく、まんじゅうがよく見えます。

曲面二重ガラスを採用し、ガラスのお手入れも簡単にできます。
お客様の目にとまる曲線を生かしたデザインです（意匠登録済）



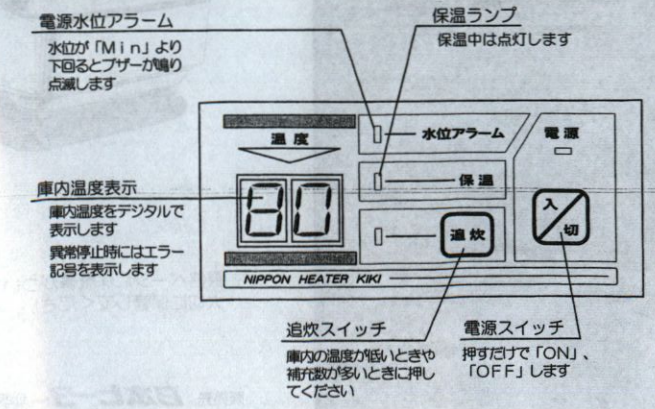
MJ45



MJ60

② 庫内温度をマイコン制御、デジタルで見やすい温度表示。異常停止時もエラー表示とブザー音でお知らせします。

※ 異常停止時の解除方法は、22ページに詳しい説明があります。



8 仕様書

型式名称	スチームマスター MJ45	スチームマスター MJ60
収納数	45個（3×3×5段）	60個（3×4×5段）
内積	60リットル	85リットル
外形寸法（㎜）	400×500×756	471×535×744
重量	24.5㎏	26.5㎏
満水水量	4.5リットル	7.0リットル
棚板面積	900㎠×5段	1326㎠×5段
棚板斜度	4.0°	4.5°
消費電力	AC100V 986W（ヒーター950W 蛍光灯36W）	
ヒーター	アルミダイキャストヒーター	
制御方式	マイコン制御	
操作盤	タッチパネル式・デジタル温度表示	
安全装置	漏電ブレーカー・フロートスイッチ・サーミスタ・リセットバイメタル	
材質	ガラス・ステンレススチール・ポリプロピレン	
給水警告	ランプ点灯・ブザー警報	
蛍光灯	30W サークライン	
付属品	金属トング・アース線	

9 アフターサービス

最終ページの「保証書」の内容をよくご覧の上、当社「サービス窓口」へご連絡ください。
保証期間後にサービスを依頼された場合には、修理により、機能がじゅうぶん発揮できる状態であれば、有料にて修理を申し受けます。
当社まんじゅう蒸し器の補修用品の最低保有期間は、該当機種製造中止後５年間です。

連絡先

- アフターサービスのご依頼
- 商品の取扱い方
- ご不明な点
- お気付けの点

（サービス窓口は土、日、祝日は、休業させていただきます。）

日本ヒーター販売株式会社
顧客サービス課
フリーダイヤル 0120-009-187
FAX 03-3768-8222
〒143-0016 東京都大田区大森北1-18-2 IKビル5F

7 困った時は　7−5 その他の困った時は

漏電ブレーカーが何度も働いたとき 本体を落下させてしまったとき 本体から煙がでたとき 本体が焦げ臭いとき	⇒ 電源及び漏電ブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い上げ先またはサービス窓口までご連絡ください

全く電源が入らない場合

● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	⇒ コンセントを差し込んでください
● 漏電ブレーカーが「切」になっていませんか？	⇒ 漏電ブレーカを「入」にしてください
● 電源が「切」になっていませんか？	⇒ 電源を「入」にしてください
● 水位が「Min」ライン以下になっていませんか？	⇒ 「Max」ライン以下まで給水してください
● お店のブレーカーやヒューズが切れていませんか？	⇒ ご自分で直せない場合、お近くの電気会社で修理を依頼してください

規定温度まで上がらない場合

● ドアが開いていませんか？	⇒ ドアを閉めてください
● 金属カバーからお湯があふれていませんか？	⇒ 電源を切り、排水口からお湯を「Max」ライン以下まで捨ててください
● 立ち上がり時間が不足していませんか？	⇒ もうしばらくお待ちください
● オーブン等の熱源のそばで使っていませんか？	⇒ 熱源から離してお使いください
● 吹きさらしの場所に置いていませんか？	⇒ 外気を遮断するようにしてください

水がもれる場合

● 本体が、大きく傾いていませんか？	⇒ 本体が水平になるように置いてください
● 給水量が多くありませんか？	⇒ 電源を切り、排水口からお湯を「Max」ライン以下まで捨ててください
● 給水のとき、水をこぼしませんでしたか？	⇒ 水をふき取って様子をみてください
● 排水コックが「閉」の位置にありますか？	⇒ 排水コックを「閉」の位置にあわせてください

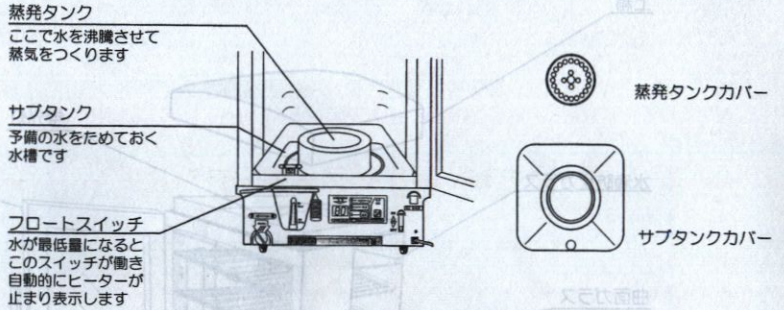
ドアが閉まらない場合

● ドアと本体の間に、なにかはさまっていませんか？	⇒ はさまっているものを取り除いてください

1 製品の特徴　1−1 製品の特徴

③ 汚れやすいタンク部の清掃が簡単にできます。

- サブタンクを洗いやすいＰＰ樹脂です。
- ２つのタンクカバーは、一体取り外しできます。
- フロートスイッチは分解清掃ができます。
- タンク内部の二重槽構造は、特許出願中です。



④ トレイが抜け落ちないストッパー機能があります。

- 引き出し過ぎて、うっかり落下させることがありません。
- トレイを抜く時は、最後まで引き出して止まったたあとに斜め上方向に持ち上げながら引くと抜けます。
- トレイストッパー機能は、特許出願中です。

この穴にトングの先端を差し込んで引き出します。
（意匠登録済・特許出願中）

⑤ 蒸気還流方式で省エネ運転です。

- 飽和した余分な蒸気は、庫内のサイドパネルの穴から吸収し、側板に導かれ水滴化してサブタンクへ回収します。
- 運転中の蒸気の漏れがなくなり、庫外への湿気の影響を少なくし水の節約にもなります。
- 蒸気還流方式は、特許出願中です。

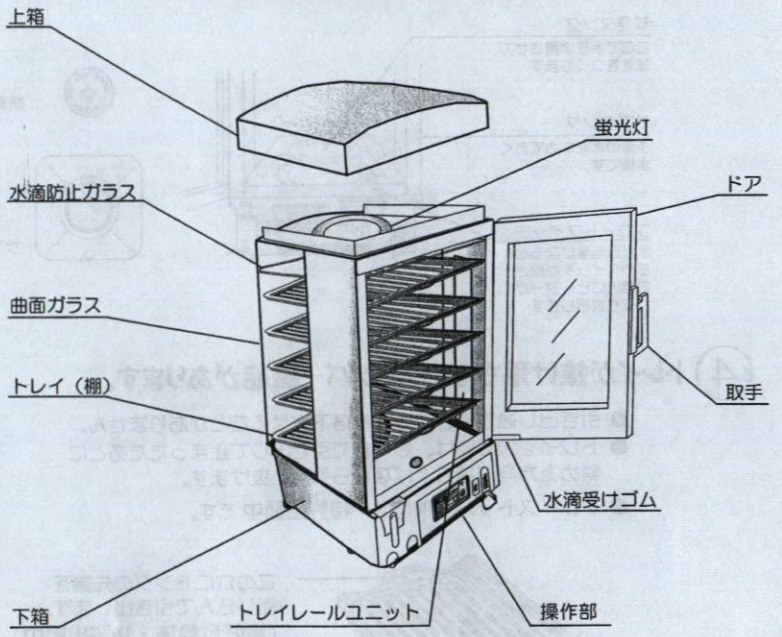
⑥ MJ45はトレイ棚ピッチの変更ができます。

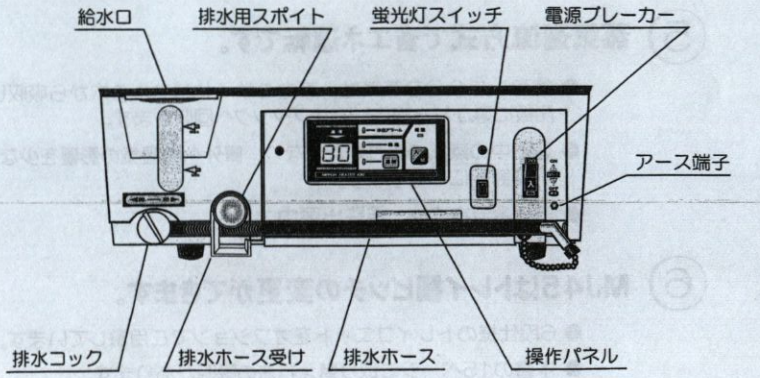
- 6段仕様のトレイユニットをオプションでご用意しています。
- 本書の15ページに取り替え方法の説明があります。

※ MJ60は、トレイ棚ピッチの変更はできません。

1 製品の特徴　1－2 各部の名称

スチームマスターMJ45



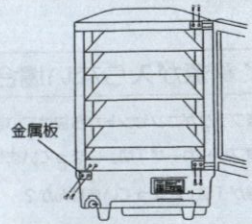


7 困った時は　7－4 ドアの向きを変えたい場合

標準品のドアの向きは「右開き」です。
置き場所などにより使い勝手が悪い場合は、下記の手順でドア向きをかえられます。

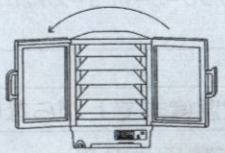
この作業は安全のために必ず2人でおこなってください。

1. ドアを1人が持ち固定して、もう1人がドアを取付けているネジ4本を外します。
2. 反対側の柱の下にあるネジ2本を外し、金属板を取り外します。
3. ドアを半回転させ、反対側にあわせます。



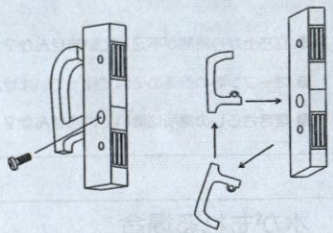
● 金属板を取り外します。

4. ドアの上下の蝶番の穴を柱のネジ穴にあわせ、ネジを半分止めます。
5. ドアを取手側に少し持ち上げるようにし、ネジを完全に止めます。



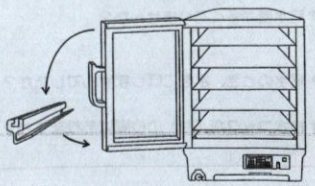
● ドアの取付けをかえます。

6. ドアを取手側に少し持ち上げるようにし、ネジを完全に止めます。
7. 取り外した金属板を、今までドアのついていた下部のネジ穴に取付けます。



● 取手の向きをかえます。

8. 取手を金属ホルダーから取り外し、上下を逆にして取付けます。
9. ドアの上部にある「水滴受けゴム」を取り外して、ドアの下部に取付けます。



● 水滴受けゴムの位置をかえます。

7 困った時は　7－3 蛍光灯がつかない場合

蛍光灯がつかない原因は、２つの理由が考えられます。下記の手順を実施してください。

① 蛍光灯ソケット及びグロースターターの取付けゆるみ

② 蛍光灯及びグロースターターの寿命（蛍光灯、グロースターターは消耗品です）

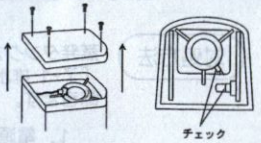
① 蛍光灯及びグロースターターの取付けゆるみ確認方法

① 蛍光灯スイッチと電源ブレーカーを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから必ず抜きます。

② 上箱を止めているネジを4本ともドライバーで外します。上箱を上に持ち上げるようにして、本体から取り外します。

③ 蛍光灯ソケット及びグロースターターの取付けがゆるんでいないか確認します。

④ 電源プラグをコンセントに接続し、電源ブレーカーを「入」、蛍光灯スイッチを「ON」にし、点灯するか確認します。

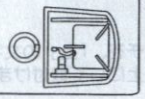


② 蛍光灯及びグロースターターの交換方法

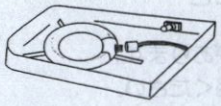
① 蛍光灯スイッチと電源ブレーカーを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから必ず抜きます。

新しい蛍光灯とグロースターターを用意します。

② 蛍光灯からソケットを抜き支持金具から外します。



③ 新しい蛍光灯を支持金具にはめ、蛍光灯のピンの部分をグロースターターに近づけ、蛍光灯とソケットをつなぎます。



④ 電源プラグをコンセントに接続し、電源ブレーカーを「入」、蛍光灯スイッチを「ON」にし、蛍光灯が点灯するか確認します。

点灯した → ⑥ 上箱の向きを合わせて本体に取付け、ネジを4本止めます。

蛍光灯交換作業は完了です。

点灯しない → ⑤ 電源ブレーカーと蛍光灯スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから必ず抜きます。

ドア側からみて、手前にある小さな照明がグロースタータなので、それを外し、新しいグロースタータをつけます。

電源プラグをコンセントに接続し、電源ブレーカーを「入」、蛍光灯スイッチを「ON」にし、蛍光灯が点灯するか確認します。

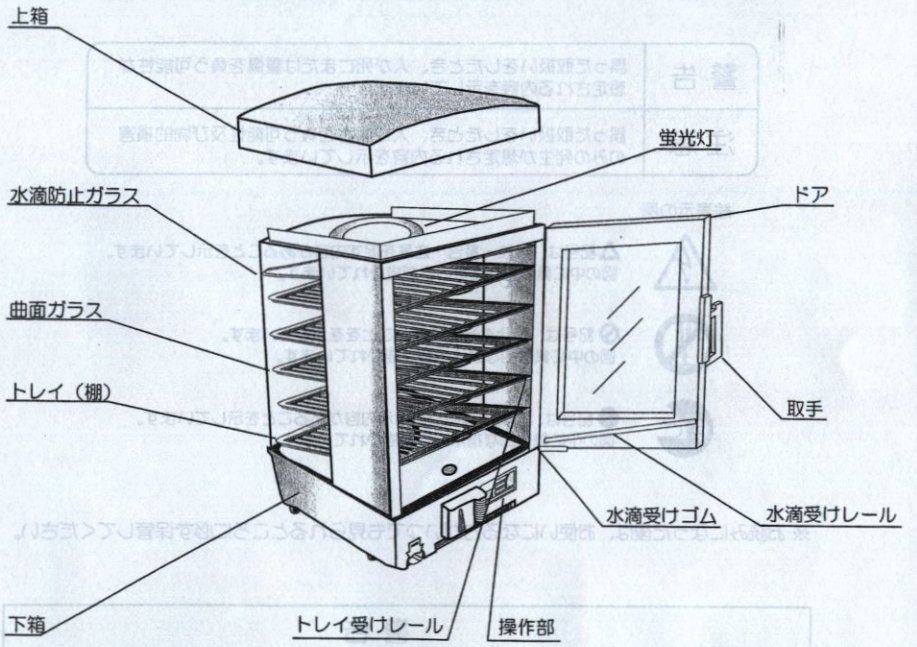
点灯した → ⑥ 上箱の向きを合わせて本体に取付け、ネジを4本止めます。

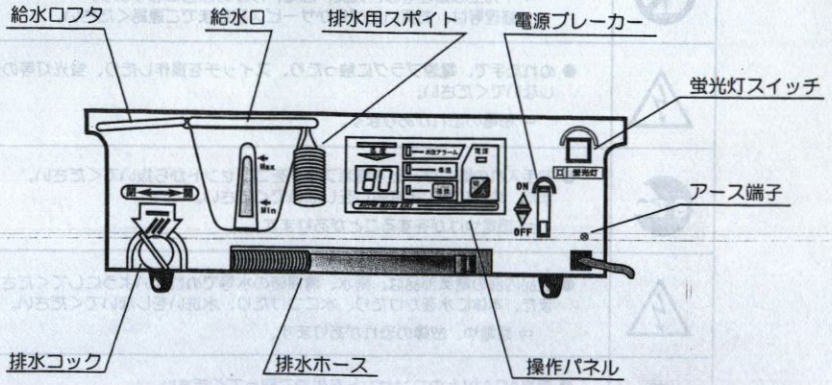
蛍光灯交換作業は完了です。

点灯しない → サービス窓口にご連絡ください

1 製品の特徴　1－2 各部の名称

スチームマスターMJ60





2 安全について　2−1 安全上のご注意

※ ご使用の前に、この「安全上のご注意」と「取扱い上のお願い」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。また本取扱説明書では注意事項を記載する上で、その危険の程度から「警告」及び「注意」の2つに分けて示しています。

警 告	誤った取扱いをしたとき、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	誤った取扱いをしたとき、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることをを示しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

●記号は、行為の強制及び指示内容があることを示しています。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警 告	
	● 修理技術者以外の人は、絶対に改造、分解をおこなわないでください。 ⇒ 不完全な修理等は、火災、感電、けがの原因になります。 修理等は、お買い上げ先かサービス窓口までご連絡ください。
	● ぬれた手で、電源プラグに触ったり、スイッチを操作したり、蛍光灯等の交換をしないでください。 ⇒ 感電の恐れがあります。
	● お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。
	● 製品内部の電気部品は、雨水、清掃時の水等でぬれないようにしてください。 また、本体に水をかけたり、水につけたり、水洗いをしないでください。 ⇒ 感電や、故障の恐れがあります。
	● 定格10A以上のコンセントを単独で使ってください。 また、交流100V以外では使用しないでください。 ⇒ 規格を守らないと感電や火災の原因になります。

7 困った時は　7−2 エラー表示が出て停止した場合

安全に作動ができない場合、危険防止のためにエラー表示が出て作動が停止します。

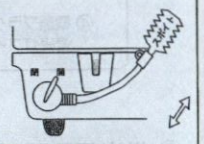
エラー表示が出たときは・・・下記の処置をしてください。

OH の表示が出たとき

蒸発タンクへの給水不良で、空焚きになった可能性があります。

対処方法　蒸発タンクまでの給水経路にゴミが詰まっていると思われます。「7-1 排水の流れが悪い場合」と同じ手順でゴミを取り除きます。

1. 電源を「切」にして、付属のスポイトを使用して詰まったゴミを取り除きます。
2. 排水コックを「閉」にして、給水口から水を「Max」までゆっくりと入れます。
3. 蒸発タンクに水があり、サブタンクの水位と同じであることを確認し、電源を「入」にします。



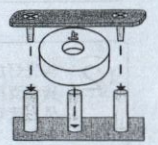
● スポイトを使いゴミを取り除きます。

EL の表示が出たとき

サブタンクの水量が少ない場合もしくはフロートスイッチの誤作動の可能性があります。

対処方法

1. 排水コックを「閉」にして、給水口から水を「Max」までゆっくりと入れます。
2. サブタンクに水があることを確認し、電源を「入」にします。
3. まだエラー表示が消えない場合は、電源を「切」にし、フロートスイッチを取り外して清掃します。
4. 清掃したフロートスイッチを、「上」の文字が浮き彫りされている面を上にして取付けます。
5. 電源を「入」にします。



● 「上」とかかれた面を上面にして取付けます。

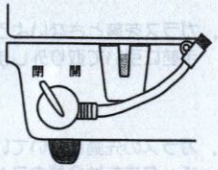
E1 または E2 の表示が出たとき

センサー等の電気系統の故障の可能性があります。
使用を中止して、サービス等口へご連絡ください。

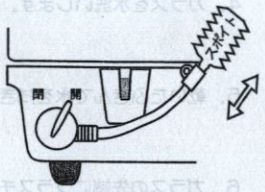
7 困った時は　7-1 排水の流れが悪い場合

排水経路の途中に、まんじゅうカス等のゴミが詰まっていると思われます。
付属のスポイトを使用してゴミを取り除いてください。

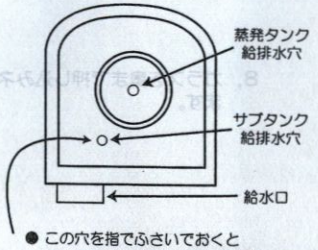
1. サブタンク内部に水が残っていることを確認します。
   水がない場合は、給水口の「Max」と「Min」の真中まで給水します。
2. 付属のスポイトを本体から取り外します。
3. 排水コックが「閉」になっているのを確認して、排水ホースを本体から外し上に持ち上げます。
4. 排水ホース先端のゴム栓を取りスポイトを差し込みます。
5. 排水ホースを持ち上げたまま排水コックを「開」まで回します。
6. サブタンクの給排水穴を指でふさぎます。
7. スポイトを数回ほど強く押します。
8. 蒸発タンクの給排水穴からゴミが押し出されたのを確認して、排水コックを「閉」にします。
9. 排水ホースからスポイトをぬいて、ゴム栓をして本体に戻します。
10. 蒸発タンクに押し出されたゴミをすくい取ります。
11. 通常どおり排水をおこないスムーズに排水ができるようになったか確認します。



● 排水ホースを上に持ち上げます。



● 排水ホースの先端にスポイトを差込み、数回ほど強く押します。



● この穴を指でふさいでおくと中央の穴からゴミがよくでます。

使い終わったスポイトは、なくさないように
本体の元の場所に戻しておきます。

困った時

2 安全について　2−1 安全上のご注意

注 意	
	● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端のプラグを持って抜いてください。 ⇒ 電源コードを引っ張ると、コードが破損し感電やショートして火災の原因になります。
	● 延長ケーブルや、タコ足配線、他の器具との分岐コンセントは使用しないでください。 ⇒ 分岐コンセント部分や電線が異常過熱し、火災の原因になります。
	● アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース避雷針に接続しないでください。 ⇒ 感電や火災の恐れがあります。
	● 漏電遮断機がたびたび作動した場合には、お買い上げ先かサービス窓口にご連絡ください。 ⇒ 使用を続けると感電や火災の恐れがあります。
	● 製品が災害等で水没した場合、電気部品、配線は、必ずお買い上げ先かサービス窓口までご連絡ください。 ⇒ 使用を続けると感電や火災の恐れがあります。
	● 本体は、まんじゅう専用蒸し器です。缶、ビン等の容器入り飲料や炭酸飲料等は、温めないでください。 ⇒ 容器が破裂し、けがの恐れがあります。
	● 本体に、アルコール、シンナー等の溶剤、薬剤は、絶対に入れないでください。 ⇒ 加熱時に爆発する恐れがあります。
	● 本体を屋外に設置する場合には、雨、雪等がかからない場所で使用してください。 ⇒ 雨、雪等で本体がぬれた場合、感電や故障の恐れがあります。
	● 必ずお店の人が販売してください。 ⇒ 取扱いを知らないお客様がご使用になると、事故、けが、やけど等をする恐れがあります。
	● 電源コードを踏みつけたり、押しつけたり、無理にねじまげたり、束ねたり、傷つけたり破損したり、加工したり、引っ張ったりしないでください。 ⇒ 感電、ショート、火災の原因になります。
	● 設置に際しては、食品衛生法を遵守してください。 また、JIS基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。 ⇒ 不完全な設置や違法な設置は、転倒事故、感電、火災、水もれの恐れがあります。
	● 異常時（本体が異常に熱い、異常音がする等）は、電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いて、お買い上げ先かサービス窓口にご連絡ください。 ⇒ 異常なまま使用を続けると、故障、感電、火災等の原因になります。

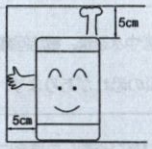
3 設置のしかた

1．開梱し、付属品にもれがないか確認します。
（付属品：トング・アース線）

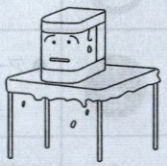
● 2人で持ち運びます。

2．水平で熱に強い台の上に置きます。
運搬は必ず2人で行ってください。

● 水平でない場所には置かないこと。

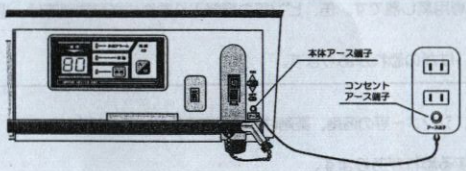


● 5cmあけます。



● 熱に弱い台の上には置かないこと。

3．アース線をとりつけます。
本体の端子位置は、P3～4の「各部の名称」でご確認ください



コンセントにアース端子がない場合は、お近くの電気店に相談してアース端子を設置してください。

● 本体とお店のコンセントのアース端子につなぎます。

実施のときの注意事項

- ● 熱に弱い場所、水平でない場所に置かないでください。
  ⇒ 本体が転倒し、ケガをする恐れがあります。
- ● アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース避雷針に接続しないでください。
  ⇒ 感電や火災の恐れがあります。
- ● 本体を移動するときに、取手を持って移動しないでください。
  ⇒ 取手が破損し、落下させる恐れがあります。
- ● 本体が入っていたダンボール箱は、未使用時の保管で使用しますので捨てないでください。
  ⇒ 捨てられた場合は、有償で販売しております。

5 お手入れのしかた　5－3 汚れが気になる時

水滴防止ガラスの掃除

1．庫内のステンレス部分とガラスを止めているネジを外します。

2．ガラスを落とさないようにゆっくり手前に引いて取り外します。

3．ガラスの先端についているプラスチックまたは金属のスペーサーを外します。

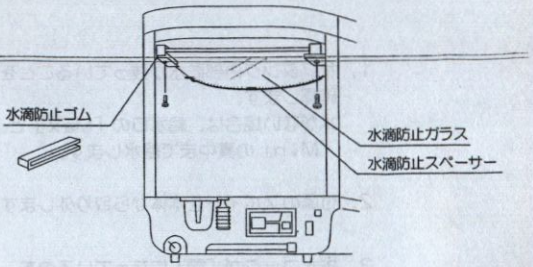
4．ガラスを水洗いします。

5．乾いたふきんで水を拭き取ります。

6．ガラスの先端にプラスチックまたは金属のスペーサーを取付けます。

7．ガラスをレールにそって入れます。

8．ガラスを奥まで押し込みネジで止めます。



● ネジを外してガラスを取ります。

● MJ45用 金属製スペーサー

● MJ60用 プラスチック製スペーサー

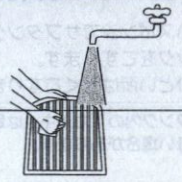
実施のときの注意事項

- ● ガラスの汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。
  ⇒ 部品の劣化の原因になります。
- ● ガラスをレールにはめて滑らすときは、ゆっくりとおこなってください。
  ⇒ 手荒にあつかうと、ケガをする恐れがあります。

5 お手入れのしかた　5－2 毎日のお手入れ

トレイの掃除

1. トレイはスポンジを使い水洗いし、乾いたふきんで水を拭きます。
2. トレイを庫内に戻します。



● トレイを水洗いします。

実施のときの注意事項

⊘	● トレイの汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。 ⇒ 部品の劣化の原因になります。

トングの掃除

1. トングを取手から外し、水洗いします
2. トングを乾いたふきんで水を拭き取ります。
3. トングかけに戻します。

● 洗ったトングをふきんで拭きます。

外観の掃除

1. かたく絞ったふきんで曲面ガラスを拭きます。
2. かたく絞ったふきんでドアの外側、本体側面を拭きます。

● かたくしぼったふきんで拭きます。

● スプレー洗剤は使用禁止です。

● 水につけないでください。

実施のときの注意事項

⊘	● 庫内の汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。 ⇒ 部品の劣化の原因になります。
⊘	● スポンジ・タワシ・金属タワシを使用しないでください。 ⇒ 傷がつき部品の劣化の原因になります。
⚠	● 本体からのびて電源プラグとつながっている電線やアース線は、拭かないようにしてください。 ⇒ 感電や漏電の恐れがあります。
⊘	● 外観を掃除するために、水をかけたり、水につけたり、流し台で洗ったりしないでください。 ⇒ 故障や感電の原因になります。

4 使用方法　4－1 使用前の準備

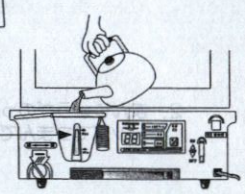
まず、下記の手順で、庫内の温度を「50℃」以上にし、まんじゅうを蒸します。

1. 取手を引き、ドアを開けます。

   全段のトレイを引き抜き、ふきんでふきます。

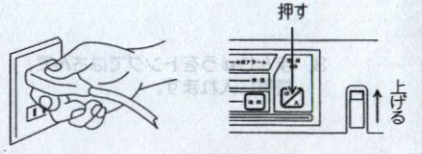
● トレイをふきんで拭きます

2. 給水口の「Max」ラインまで水を入れます。



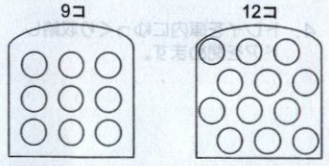
● 「Max」まで給水します。

3. 電源プラグをコンセントに差込み、電源ブレーカーを「ON」、電源を「入」にします。



● 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を「入」にします。

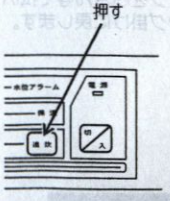
4. 庫内温度表示の数値が「50℃」以上になったら、ドアを少し開け蒸気を逃がしてから、トレイをトングで引き出します。
5. トレイにまんじゅうをのせて収納します。



● トレイにまんじゅうをのせます。

6. 追炊スイッチを押します。

   庫内が所定の温度に達すると自動的に保温ランプが点灯します。



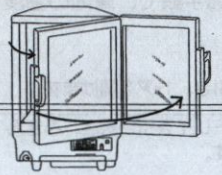
● 追炊ボタンを押します。

実施のときの注意事項

	● 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。
	● 加熱中は、庫内に手や顔を入れないでください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。
!	● まんじゅうは指定されたものを使用し、食品衛生法に従い、日常の管理をしてください。 ⇒ 事故発生の原因になる恐れがあります。
⊘	● 延長ケーブルや、タコ足配線、他の器具との分岐コンセントは使用しないでください。 ⇒ 異常加熱し火災が発生する恐れがあります。

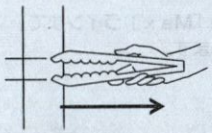
4 使用方法　4－2 販売方法

1. 取手を引き、ドアを少し開け蒸気を逃がしてから全開します。



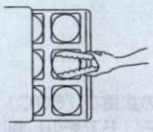
● 蒸気を逃がしてから開けます。

2. まんじゅうがのっているトレイをトングでつまんで引き出します



● トングでトレイを引き出します。

3. まんじゅうをトングではさんで、袋等に入れます。



● まんじゅうをトングでつかみます。

4. トレイを庫内にゆっくり収納しドアを閉めます。

5. トングをふきん等で拭いてからトング掛けに戻します。

● トングをふきんで拭きます。

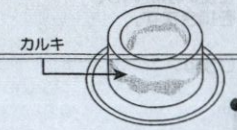
実施のときの注意事項

● 必ずお店の方が販売してください。取扱い方法を知らないお客様に使用させないでください。 ⇒ 事故発生の原因になる恐れがあります。	● ドアを閉めるときは、勢い良く閉めないでください。 ⇒ ドアガラスが割れる恐れがあります。
● 庫内は、大変熱くなっていますので、顔を40cm以上遠ざけてください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。	● トングを拭くふきんは、常に清潔に保つようにしてください。 ⇒ 事故発生の原因になる恐れがあります。

5 お手入れのしかた　5－2 毎日のお手入れ

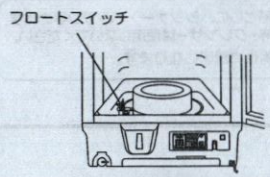
サブタンク・蒸発タンクの掃除

1. 柔らかいスポンジでサブタンクや蒸発タンクをこすります。
汚れがひどい所は強くこすります。
蒸発タンク内の「カルキ」は取りきれない場合があります。



● 蒸発タンクのそうじをします。

2. フロートスイッチは、歯ブラシを使い汚れを落とします。



● フロートスイッチのそうじをします。

3. やかん等に水を入れて、タンクの汚れを洗い流します。

4. 空のポリバケツを用意して、排水ホースをポリバケツに向けます。

5. 排水コックを「開」にして排水し、終了したら「閉」にします。

● タンク内部を洗い流します。

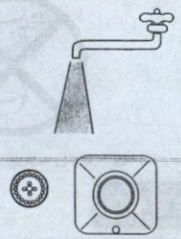
実施のときの注意事項

● 排水のときは、水が本体や周りにかからないように注意してください。 ⇒ 故障する恐れがあります。	● 硬いスポンジ・タワシ・金属タワシ等を使用しないでください。 ⇒ 部品劣化の原因になります。
● タンクの汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。 ⇒ 部品の劣化の原因になります。	● 1日2回以上水を交換するようにしてください。 ⇒ カルキがあまり付着しなくなります。

サブタンクカバー・蒸発タンクカバーの掃除

1. サブタンクカバー・蒸発タンクカバーを水洗いして、きれいなふきんで水を拭きます。

2. サブタンクカバー・蒸発タンクカバーを庫内に戻します。



● サブタンクカバー、蒸発タンクカバーを水洗いします。

実施のときの注意事項

● カバーの汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。 ⇒ 部品の劣化の原因になります。

5 お手入れのしかた　5－2 毎日のお手入れ

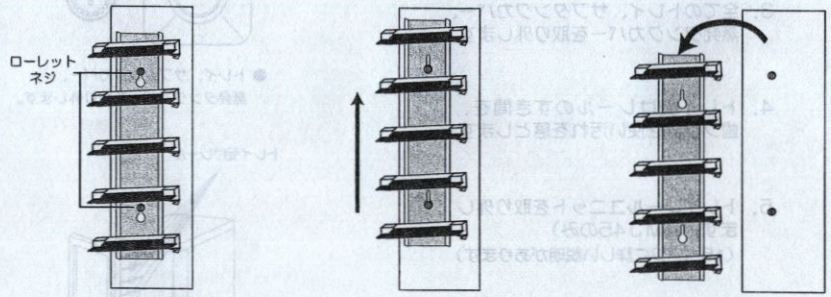
スチームマスターＭＪ45 のみ対象です。※ＭＪ60には関係ありません。

トレイレールユニットの脱着のしかた

庫内のお手入れをする場合に、トレイレールユニットを取り外しすとガラス掃除がしやすくなります。

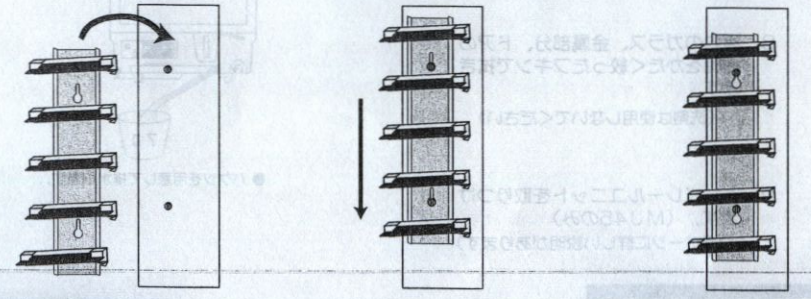
トレイレールユニットの取り外しのしかた

1. ローレットネジを２ヶ所ゆるめます。
2. トレイレールユニットを上方向にスライドさせてローレットネジを大きなネジ穴に合わせます。
3. トレイレールユニットを側面板から取り外します。ローレットネジは、そのまま側面板に残します。



トレイレールユニットの取り付けのしかた

1. トレイレールユニットをローレットネジと大きなネジ穴が合うように取り付けます。
2. トレイレールユニットを下方向にスライドさせてローレットネジをせまいネジ穴に合わせます。
3. ローレットネジを２ヶ所指でしめてトレイレールユニットを固定します。

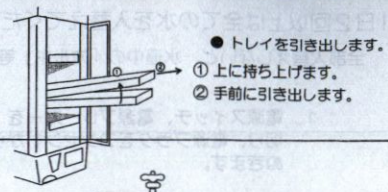


実施のときの注意事項

- ● ローレットネジは本体から取り外さないでください。
  ⇒ ネジを紛失する恐れがあります。
- ● ローレットネジが指で回せない場合は、硬貨もしくはマイナスドライバーで回してください。
  ⇒ 無理に回すと指をケガする恐れがあります。
- ● ネジ穴の位置があっていない状態で、トレイレールユニットを無理にひっぱらないでください。
  ⇒ 本体の側面板が破損する原因になります。
- ● トレイレールユニットを固定するときは、ローレットネジをしかっりと締めて固定してください。
  ⇒ トレイが引き出しにくくなることがあります。

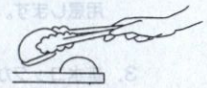
4 使用方法　4－3 まんじゅうの補充

1. 取手を引き、ドアを少し開け蒸気を逃がしてから全開します。
2. まんじゅうがのっていないトレイを~~トングでつまんで引き出します~~
3. 引き出したトレイを水洗いします。
   ※ 洗剤・化学薬品は使用しないでください。
4. トレイの表面に新しいまんじゅうを並べます。
5. トレイを本体に収納しドアを閉めます。
6. まんじゅうの補充量が多い場合は、「追炊スイッチ」を押します。
   庫内が所定の温度に達すると自動的に保温ランプが点灯します。

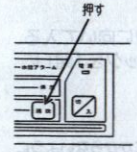


● トレイを引き出します。

● トレイを洗います。



● まんじゅうをのせます。



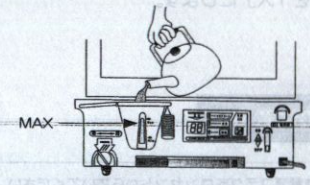
● 追炊ボタンを押します。

実施のときの注意事項

- ● 庫内は、大変熱くなっていますので、顔を40cm以上遠ざけてください。
  ⇒ やけどをする恐れがあります。
- ※ 継ぎ足しの場合は、補充したまんじゅうと既に入っているものと混同しないように注意してください。
- ● 本体からトレイを引き出すときは、トングでひばってください。
  また、本体から取り出す場合は、引き出しきったあとふきんで両端を持ち、数cm上に上げながら少し引いて下に下げると外れます。必ずふきんを使用してください。
  ⇒ やけどをする恐れがあります。

4 使用方法　4－4 給水のしかた

1. 給水口のフタを開けて、水道水を「Ｍａｘ」ライン近くまでゆっくり注ぎ入れます。
2. 給水口のフタを閉めます。



● 「Ｍａｘ」まで水をいれます。

実施のときの注意事項

- ● お湯や水道水以外の水は入れないでください。
  ⇒ 故障・悪臭の原因になります。
- ● 「Max」ラインを超えて水を入れないでください。
  ⇒ 水漏れをおこす恐れがあります。

5 お手入れのしかた　5－1 水の交換

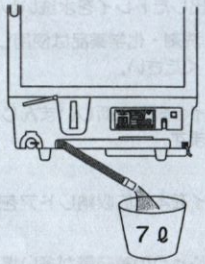
1日2回以上は全ての水を入替えてください。

全部入替えしないと、水道中の「カルキ」等が濃縮されタンク内にこびりつき、故障の原因となります。

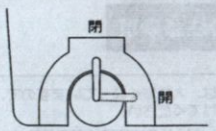
1. 電源スイッチ、電源ブレーカーを切り、電源プラグをコンセントからぬきます。
2. 7リットル以上入るポリバケツを用意します。
3. 排水コックが、「閉」になっているのを確認し、排水ホースを本体から外します。
4. 排水口がポリバケツに向いて入るのを確認し、排水コックを「開」にします。

排水時、熱湯が体にかからないように注意してください。
やけどする恐れがあります。

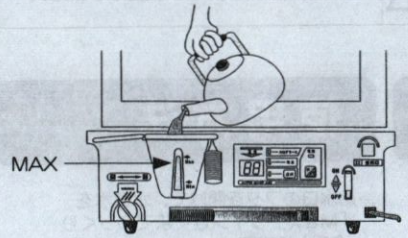
5. タンク内の水を全部抜いたあと排水コックを「閉」にします。
6. 排水コックが「閉」、排水ホースが収納してあることを確認します。
7. 給水口から水道水を「Max」まで入れます。
8. 電源プラグをコンセントに差込み、電源ブレーカーを「ON」にし、電源を「入」にします。



● バケツを用意して排水します。



● 排水コックを「開」に回します。



● 「Max」まで水を入れます。

実施のときの注意事項

● 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。	● 本体には水道水以外の水を入れないでください。 ⇒ 悪臭・故障の原因になります。
● 排水の時、軍手・鍋つかみ等を使用し、排水ホースを持ってください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。	● 本体に水を入れるときは、周りに水をこぼさないようにしてください。 ⇒ 感電する恐れがあります。

5 お手入れのしかた　5－2 毎日のお手入れ

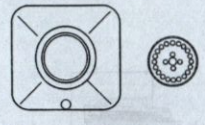
庫内の掃除

※ 庫内を清潔に保つため、1日1回は庫内の清掃をおこなってください。

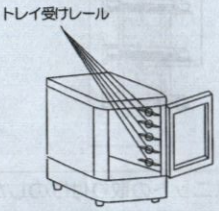
※ 庫内のお手入れの際は、中性洗剤などは絶対に使用しないでください。
部品の劣化や蒸発タンクからお湯があふれでる原因になります。

1. 電源スイッチ、電源ブレーカーを切り、電源プラグをコンセントからぬきます。
2. 扉を開けたまま10分以上放置して庫内の温度を下げます。
3. 全てのトレイ、サブタンクカバー、蒸発タンクカバーを取り外します。
4. トレイ受けレールのすき間を、歯ブラシを使い汚れを落とします。
5. トレイレールユニットを取り外します。（MJ45のみ）
（15ページに詳しい説明があります）
6. 空のポリバケツを用意して、排水ホースをポリバケツに向けます。
7. 排水コックを「開」にして排水し、終了したら「閉」にします。
8. 庫内のガラス、金属部分、ドアの内側をかたく絞ったフキンで拭きます。
（洗剤は使用しないでください）
9. トレイレールユニットを取りつけます。（MJ45のみ）
（15ページに詳しい説明があります）

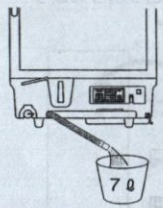
● 扉をあけて庫内の温度を下げます。



● トレイ、サブタンクカバー、蒸発タンクカバーを取り外します。



● トレイ受けレールのすきまを歯ブラシで汚れを落とします。



● バケツを用意して排水します。

実施のときの注意事項

● 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。 ⇒ 感電やけがをすることがあります。	● 庫内の汚れ落としに、シンナー・ベンジン等の化学薬品や中性洗剤・クレンザーは使用しないでください。 ⇒ 部品の劣化の原因になります。
● 電源を切った直後は、庫内が高温になっていますので冷ましてから作業をしてください。 ⇒ やけどをする恐れがあります。	● 庫内に水を入れるときに、操作パネルに水がかからないようにしてください。 ⇒ 電気部品が故障する原因になります。